

クリチバ治安情報（クリチバ市内で発生したナイフによる障害事件）

クリチバ市内で発生した2件の障害事件の情報を入手しましたところ、概要を以下のとおりお知らせ致します。

4月3日（金）夕刻、クリチバ市セントロ地区チラデンテス広場にて、66歳の男性が何者かにナイフで切りつけられ重傷を負い、市内の病院に搬送された。

事件発生当時は、キリスト受難節を記念する行進が行われていたが、救急隊員の話では同男性は行進には参加しておらず、広場付近の簡易酒場でおきた口論によるものと見られている。

また同日午後8時頃、グアダルペバスターミナルの構内で父子二人連れが同一人物と思われる男にナイフで切りつけられ、市内の病院に搬送された。

48歳の父親は比較的軽傷で済んだものの、19歳の息子の方は背中を数箇所刺され重傷。

目撃情報によると、犯人の標的は息子の方で、父親は息子をかばおうとして巻き添えになった模様。

<当館からのお願い>

・昨今、怨恨等による障害・殺人が増加しております。

犯人は、犯行時の興奮状態で理性を失い、周囲を巻き込む可能性もありますので、外出の際は周囲の警戒を十分に行い、不審な行動・言動がある者には絶対に近寄らないようお願い致します。

・万が一このような事件の被害に遭われた場合は、速やかに軍警察（Policia Militar、電話番号190）に一報するとともに、被害届を最寄りの文民警察（Policia Civil、電話番号197）に提出することが事件発生現場の巡回強化や捜査等にも繋がるため、非常に大切です。

・被害拡大防止のため、在留邦人等の皆様と（個人情報をおふせした上で）情報を共有するためにも、当館（担当：警備班・領事班）へご連絡いただければ幸いです。